（様式５）

産業デザイン科スペースデザインの施工実習に関する作業手順書の作成（1）

産業デザイン科　安次嶺　瑛子
若　島　英司

1　はじめに

産業デザイン科スペースデザインにおける施工実習では，専用の指導書や訓練時に使用する作業手順書は市販されておらず，実習時に制作する簡易的な図面や部材一覧等の配布物をもとに，指導者の実演や口述等での指導が中心となってきた．

施工実習内容を職種別に整理すると，内装施工・システム施工・舞台美術制作といった具合に多岐にわたっている．

一方で，指導者も専門性は多岐にわたっているものの，全ての実習授業の対応する必要がある．そこで本研究では，指導内容を標準化するとともに，訓練時にテキストとして活用できる作業手順書を作成する．

2　研究経過

2.1　作業手順書のスタイルについて

作業手順書の内容は，それぞれの訓練ごとに，全体の作業工程，使用する道具や工具の一覧，道具や工具の使い方を示した各作業工程の手順やポイントという項目で作成する．

作業手順書のスタイル（図 1）を検討し，全体の作業工程が一目でわかり，そのあとのページに作業工程の詳細を記し，視覚的に分かりやすくまとめ，書き方を統一することで作業手順書を見やすくする．

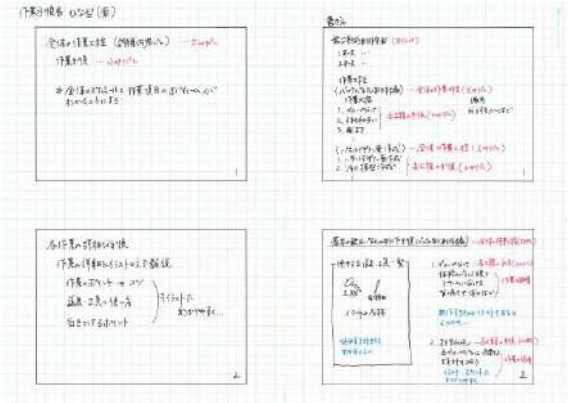

図1　作業手順書のスタイルと書き方案

2.2　作業手順書の作成

実習内容を作業分解して，テキスト化できる内容は先行作成し，本校ならではの条件などは，実習中に確認しながら加筆していく方針で作成していく．

また，道具や工具の使い方等、その作業内容の専門性を持つ指導についても，担当する指導員に都度確認しながら，急所やカンコツを加筆していく．

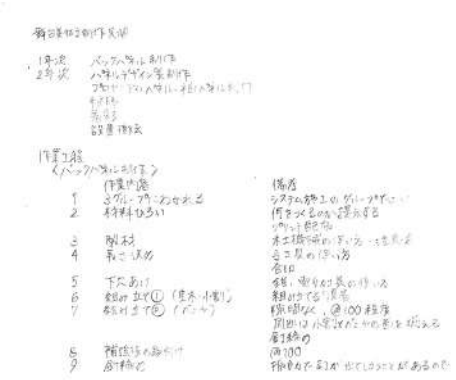

図2　全体の作業工程のページの一部

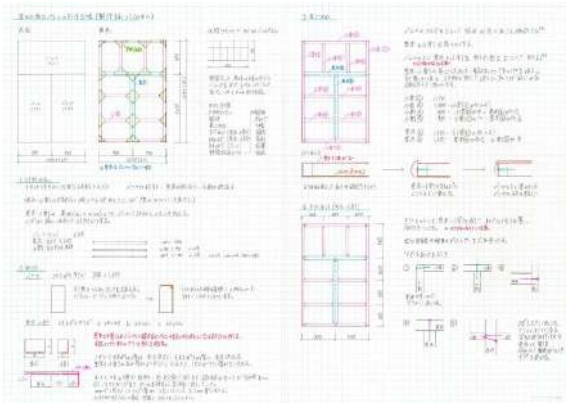

図3　作業工程の詳細のページ

3　今後の予定

今年度は，実習を行いながら作業手順書を作成してきた．また不慣れな作業や技術が不足している作業については，練習しながら作業手順書を作成した．

今年度に完成できなかった項目もあるので，次年度の訓練前には完成させ，作成した作業手順書をもとに実習を行い，さらに不足している部分を足していく．

4　参考文献

滝　善光，図解舞台美術の基礎知識（舞台技術入門新シリーズ（4）），（2005），レクラム社
一般社団法人日本壁装協会，壁装ハンドブック（改訂版），（2007），一般社団法人日本壁装協会
日装連技能テキスト壁装施工法改訂版編纂委員会，壁装，（1996），日装連
日装連技能テキスト・プラスチック床材編改訂版編纂委員会，プラスチック床材編，（1996），日装連